

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第9号 平成23年4月22日

達脇今期3勝目！！

お変わり君2試合連発！！

	1	2	3	4	5	6	7	R
S	1	2	0	0	1	0	0	4
G	4	2	0	0	0	3	×	9



4/22(日)六郷公園に出向きセブンスターとオープン戦を行った。昨日が気持ち的に嫌な負け方をしただけに、今日はその敗戦を払拭する内容での勝利を求めた。結果はスカッと打撃し、すかッと投手が抑え、昨日の敗戦を引きずらない勝利を手中に収めた。初回に四球で出したランナーを1安打と失策でホームインさせたが、その裏の攻撃、一撃でひっくり返した。3つの四球を選択し、一死満塁の場面、昨日ホームランを放っている木村が打席に入る。その木村が推定距離110mのレフトオーバーランニングホームランを放ち一挙4点を挙げ、展開を有利なものにした。しかし翌回に四球で出したランナーを内野ゴロと長打で2点を返され、その差は1点差、が、翌2回の攻撃、死球で出したランナーを今度はたかあきが、今期1本目のホームランを決め、2点を挙げ、またもやリードを広げ、優位なゲーム展開にした。その後、5回に1点を与えたが、6回に今日2本目の長打をたかあきが放ち、今日のゲームを決めた。先発達脇に関しては、大分安定感が出てきたが、何れも四球が得点に絡んでいるので、やはり四球を出さない投球が大事であろう。2番手として上がった政司は、2回をびしゃりと抑え、今期初セーブを上げた。今日のゲームで特筆すべき内容は、ポップフライが一つと叩くバッティングの意識が出来た事。また、外野のポジション取りが非常に功を奏した事であろう。明らかに何をやるかのポジション取りは、大量失点に繋がらない証となった。草野球は如何にアウトカウントを増やすのが大事な事、しかし、往々にして、1点も与えたくない気持ちが、結果中途半端になり、大量失点に繋がるが、今日はそれが無かったのが非常に良かった事である。

ただ心配な事もある。長打で得点するのも良いが、打線の繋がりが無かったのも事実。打線が繋がったと思えたのは、6回の攻撃だけだったので、もう少し、コツコツ感を増し、出塁する気持ちを高めなければ、上位に行った場合は、展開が厳しくなる。自身の満足感で打席に入るのではなく、後続に繋げる気持ち、最後の打者にならない気持ちを持ち、打席に入る事が大事。これを実践すれば、自ずと結果は出るはず。

まもなく、今期の区民大会初戦が始まる。取りこぼさないためにも、チーム一丸これらを意識しよう！

野球はスターが一人では勝利出来ない競技だから・・・